

# INFORMATION

No. 1410-19

## 新規受託のお知らせ

謹啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

この度、下記の項目につきまして、新規受託を開始させていただくことになりましたので、ご案内申し上げます。

敬具

記

### ■検査要項

新規受託						現行(受託可能)				
コード	検査項目名	採取容器	検体/検体量(保存)	検査方法	所要日数	コード	検査項目名	容器検体量	検査方法	所要日数
4457	ペプシノゲン《LA》 (PG/LA)	A	血清 0.5ml (冷蔵)	LA (ラテックス凝集法)	1日～ 3日	1209	ペプシノゲン (PG)	同左	CLIA	4日～ 7日
4458	ヘリコバクター・ ピロリ抗体《定量》	A	血清 0.5ml (冷蔵)	LA (ラテックス凝集法)	1日～ 3日	1260	ヘリコバクター・ ピロリ抗体 IgG	同左	EIA	3日～ 5日
4459	ABC検診《LA》	A	血清 1.0ml (冷蔵)	LA (ラテックス凝集法)	1日～ 3日	4421	ABC検診	同左	CLIA/ EIA	4日～ 7日
4460	ABCD検診《LA》	A	血清 1.0ml (冷蔵)	LA (ラテックス凝集法)	1日～ 3日	4432	ABCD検診	同左	CLIA/ EIA	4日～ 7日

※ペプシノゲン《LA》およびABC検診《LA》、ABCD検診《LA》の別紙報告書(チャート報告書)につきましては裏面に掲載致しましたので、ご参照ください。

※なお、基準値および判定等の変更はございません。

### ■受託開始期日

平成26年 11月 4日(火)より受託開始

株式会社 武蔵臨床検査所

\*お問い合わせは当社または担当者までお願いいたします。

〒358-0013 埼玉県入間市上藤沢309-8  
TEL 04-2964-2621 FAX 04-2964-6659  
URL <http://www.e-musashi.co.jp>

# ■チャート報告書(見本)

## ABC検診《LA》、ABCD検診《LA》報告書(チャート図)／B5版サイズ

### ABC 検診 報告書

施設名 武蔵臨床検査所 様 主治医 武蔵 先生  
 採取日 2014年09月28日 カルテNo 1 診療科 内科  
 受付日 2014年09月28日 患者名 山崎 知 階  
 報告日 2014年10月01日 性別 男 年齢 42歳 検体No 100  
 コメント

#### ペプシノゲン/ヘリコバクター・ピロリの判定結果

検査項目	測定結果	判定	ABC分類	ペプシノゲン判定領域
ペプシノゲンⅠ	73.1 ng/ml	(-)	A	50 ~ 100
ペプシノゲンⅡ	7.9 ng/ml			25 ~ 50
ペプシノゲンⅠ/Ⅱ	9.3			5.0 ~ 10.0
ヘリコバクター・ピロリ抗体	3未満 U/ml	(-)		

#### ABC 検診 判定結果

##### A群 健康な胃粘膜



健康な胃粘膜で、胃の病気になる危険性は低いと考えられます。

##### B群 少し弱った胃粘膜



少し弱った胃粘膜です。胃潰瘍・十二指腸潰瘍などに注意しましょう。一度、内視鏡検査を受けましょう。

##### C群 弱った胃粘膜



弱った胃粘膜です。胃がんなどの病気になるリスクが高いタイプ。一度、内視鏡検査を受けましょう。定期的な内視鏡検査をお勧めします。

**ABC検診とは・・・**  
 ABC分類は『胃の健康度』に応じて検診間隔を設定することができます。A群なら5年に1回の検査、B群であれば精密検査を受診し、問題がなければ2～3年に1回の検査、C、D群ならば精密検査を受診し、問題がなければ1年に1回の検査を実施するという方法です。ただし、ヘリコバクター・ピロリ菌除菌後の方は、ABC分類対象外となります。

**ペプシノゲン検査とは・・・**  
 「ペプシノゲン」という物質の血中濃度を測定することで、胃粘膜の老化(萎縮)の状態を客観的に調べる検査です。

**ヘリコバクター・ピロリ検査とは・・・**  
 胃がヘリコバクター・ピロリ菌に感染していないかを調べる検査です。

▲ 武蔵臨床検査所 報告責任者 清水

### ABCD 検診 報告書

施設名 武蔵臨床検査所 様 主治医 武蔵 先生  
 採取日 2014年09月28日 カルテNo 1 診療科 内科  
 受付日 2014年09月28日 患者名 山崎 知 階  
 報告日 2014年10月01日 性別 男 年齢 42歳 検体No 101  
 コメント

#### ペプシノゲン/ヘリコバクター・ピロリの判定結果

検査項目	測定結果	判定	ABC分類	ペプシノゲン判定領域
ペプシノゲンⅠ	ng/ml			50 ~ 100
ペプシノゲンⅡ	ng/ml			25 ~ 50
ペプシノゲンⅠ/Ⅱ				5.0 ~ 10.0
ヘリコバクター・ピロリ抗体	U/ml			

#### ABCD 検診 判定結果

##### A群 健康な胃粘膜



健康な胃粘膜で、胃の病気になる危険性は低いと考えられます。

##### B群 少し弱った胃粘膜



少し弱った胃粘膜です。胃潰瘍・十二指腸潰瘍などに注意しましょう。一度、内視鏡検査を受けましょう。

##### C群 弱った胃粘膜



弱った胃粘膜です。胃がんなどの病気になるリスクがあります。必ず内視鏡検査を受けましょう。また、毎年内視鏡検査をお勧めします。

##### D群 かなり弱った胃粘膜



かなり弱った胃粘膜です。胃がんなどの病気になるリスクがあります。必ず内視鏡検査を受けましょう。また、毎年内視鏡検査を受けましょう。

**ABCD検診とは・・・**  
 ABCD分類は『胃の健康度』に応じて検診間隔を設定することができます。A群なら5年に1回の検査、B群であれば精密検査を受診し、問題がなければ2～3年に1回の検査、C、D群ならば精密検査を受診し、問題がなければ1年に1回の検査を実施するという方法です。ただし、ヘリコバクター・ピロリ菌除菌後の方は、ABCD分類対象外となります。

**ペプシノゲン検査とは・・・**  
 「ペプシノゲン」という物質の血中濃度を測定することで、胃粘膜の老化(萎縮)の状態を客観的に調べる検査です。

**ヘリコバクター・ピロリ検査とは・・・**  
 胃がヘリコバクター・ピロリ菌に感染していないかを調べる検査です。

▲ 武蔵臨床検査所 報告責任者 清水

## ペプシノゲン《LA》報告書(チャート図)／B5版サイズ

### ペプシノゲン 検査 報告書

施設名 武蔵臨床検査所 様 主治医 武蔵 先生  
 採取日 2014年09月28日 カルテNo 1 診療科 内科  
 受付日 2014年09月28日 患者名 山崎 知 階  
 報告日 2014年10月01日 性別 男 年齢 42歳 検体No 102  
 コメント

#### ペプシノゲン 検査 の 判定 結果

検査項目	測定結果	判定	ペプシノゲン判定領域
ペプシノゲンⅠ	ng/ml		50 ~ 100
ペプシノゲンⅡ	ng/ml		25 ~ 50
ペプシノゲンⅠ/Ⅱ			5.0 ~ 10.0

##### (-) 健康な胃粘膜



今回の検査では胃粘膜の萎縮(老化)の傾向は認められませんでした。今後1～3年に一度くらいはペプシノゲン検査をお受けになることをお勧めします。

##### (1+) 少し弱った胃粘膜



胃粘膜の萎縮(老化)が疑われます。萎縮の程度をみるために精密検査をお受けになることをお勧めします。精密検査の結果異常がなくても、その後1～3年に一度くらいはペプシノゲン検査または精密検査をお受けになることをお勧めします。

##### (2+) 弱った胃粘膜



胃粘膜の萎縮(老化)が進んでいるようです。早めに精密検査をお受けになることをお勧めします。また、精密検査の結果異常がなくても、その後1～2年に一度くらいは精密検査をお受けになることをお勧めします。

##### (3+) かなり弱った胃粘膜



胃粘膜の萎縮(老化)が大幅に進んでいるようです。早急に精密検査をお受けになることをお勧めします。また、精密検査の結果異常がなくても、その後1年に一度くらいは精密検査をお受けになることをお勧めします。

#### ペプシノゲン(P/G)による胃粘膜萎縮度の判定基準

判定	測定値
萎縮性 3+	P/GⅠ (ng/ml) 30.0以下 かつ I/Ⅱ比 3.0以下
中等度性 2+	50.0以下 かつ 3.0以下
軽性 1+	70.0以下 かつ 3.0以下
萎縮性 -	上記条件以外



\*なお、詳しい内容については、担当医にご相談下さい。  
 ▲ 武蔵臨床検査所 報告責任者 清水